

開腹胃切除の手術を受けられる

説明医師

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	○体調を整え手術にのぞめる	○安心して手術が受けられる	○術後の痛みや不快感を伝えられる	○水分を摂取できる ○看護の付き添いで歩行ができる	○食事のとり方が理解できる
検査				胸腹部のレントゲンと血液検査を行います	
食事	夕食後絶食 21時まで水分可 朝食は自宅	絶飲食となります(経口補水液は朝6時まで可)		水分のみ可(医師の指示による)	分割食(流動食)
処置・観察	体温・脈拍・血圧酸素飽和度を測定します リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 入浴前にお臍をきれいにします	歩いて手術室まで行きます	手術後、酸素マスクをしています		手術創の確認をします 尿の管を抜去します(2~3日目) 背中に入っている麻酔の管を抜去します(2~3日目)
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 就寝前に下剤を服用します		引き続き点滴があります 手術後、抗生剤の点滴を行います	血栓予防の薬剤を皮下注射します。	
行動・リハビリ	シャワーしてください 制限ありません	トイレを済ませ以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し	手術着から寝巻きに着替えます	看護師が体を拭きます	
	リハビリ科の診察があります		ベッドで安静にしてください	付き添いのもとリハビリを開始します(安静度やリハビリの進行には個人差があります)	
説明・指導	術前オリエンテーション 医師より ・入院治療計画と麻酔について 看護師より ・入院生活について 薬剤師より ・お薬について ・持参薬確認		術後、痛いときはお申し出ください 医師より ・手術の経過について		栄養士より ・栄養相談(術後2日目) 病室で

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 月 日～ 日	月 月 日～ 日											
経過	術後 3 日目		術後 4 日目		術後 5 日目	術後 6～8 日目	(9～12 日目) 退院									
目標	○食事のとり方が理解できる		○食事形態が変わることになれる		○順調に食事をとることができる		○退院後の生活について不安なことを主治医や看護師に伝えられる									
	○看護の付き添いで歩行できる				○腸瘻の管理をマスターしていく											
検査	 胸腹部のレントゲンと血液検査を行います				 必要に応じて胸腹部のレントゲンと血液検査を行います											
食事	分割食（流動食）		分割食（3分かゆ）		分割食（5分かゆ）		分割食（全かゆ）	退院日は朝食後に退院です								
																
処置・観察	 体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します		 お腹の管を抜去 します（4～5日目）		 手術創の確認を します				 退院時、リストバンド を外します							
																
注射・内服	 引き続き点滴が あります						 7 日目で点滴が 終了します									
	 血栓予防の薬剤 を皮下注射しま す															
行動・リハビリ	 看護師が 体を拭きます				 シャワーできま す（4日目以後）				退院となります							
	 付き添いのもとリハビリを継続します (安静度やリハビリの進行には個人差があります)															
説明・指導	 術後、痛いときはお申し出ください								 医師より ・退院後の治療について							
			 看護師より腸瘻 の指導が始まり ます				 栄養士より ・栄養相談実施 (術後 7 日目) 栄養相談室で		 看護師より ・退院後の療養 生活について ・次回外来受診に ついて  療法士より ・退院に向けて							

